

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和8年4月1日

計画の名称

高石市内の駅周辺におけるまちづくり（第2期）

計画の期間

令和8年度 ～ 令和11年度（4年間）

計画の目標

重点配分対象の該当

○

高石駅周辺において、既存ストックを活用した魅力の発見や創出を図り、車中心から人中心の空間となるまちなかを形成して駅周辺の価値向上に資する商業施設やにぎわい拠点となる公共施設整備の推進をめざす。

計画の成果目標（定量的指標）

・駅前広場及び北側高架下空間の滞在者数

・夏期におけるイベント回数

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値

中間目標値

最終目標値

備考

①平日日中における駅前広場及び北側高架下空間の滞在者数

20人

40人

②夏期におけるイベント回数

1回

3回

全体事業費

合計
(A+B+C+D)

和8年

月

A

1,145.0

B

0.0

C

0.0

D

0.0

効果促進事業費の割合
C / (A+B+C+D)

0.0%

交付対象事業

A 基幹事業

番号

事業種別

地域種別

交付対象

直接間接

事業者

要素となる事業名
(事業箇所)

事業内容
(延長・面積等)

市町村名

事業実施期間（年度）

R8

R9

R10

R11

R12

全体事業費
(百万円)

費用便益比

個別施設計画
策定状況

備考

A10-001

都市再生

一般

高石市

直接

高石市

まちなかウォークアブル推進事業

駅周辺整備等

高石市

1,145.0

合計

1,145.0

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号

事業種別

地域種別

交付対象

直接間接

事業者

要素となる事業名

事業内容
(延長・面積等)

市町村名

事業実施期間（年度）

R4

R5

R6

R7

R8

全体事業費
(百万円)

費用便益比

個別施設計画
策定状況

備考

合計

0.0

C 効果促進事業

番号

事業種別

地域種別

交付対象

直接間接

事業者

要素となる事業名

事業内容

市町村名
港湾・地区名

事業実施期間（年度）

R4

R5

R6

R7

R8

全体事業費
(百万円)

備考

合計

0.0

番号

一体的に実施することにより期待される効果

備考

C-1

地域の意見を反映し、地域と連携した効果的な中心市街地の再生を推進する。

C-2

空き店舗の改修（A-3）にあわせ、地域のニーズにあった魅力ある商業サービスの展開を図る。

C-3

市街地再開発事業（A-2）の保留床を取得し、地域の歴史・文化を発信する拠点を形成する。

C-4

バス走行空間の改善（A-3、A-4、A-6）に合わせて、中心市街地の循環バスを整備し、中心市街地の移動利便性の向上を図る。

C-5

公共空間を有効に活用し、周辺商業施設と一体となったにぎわいを創出する。

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号

事業種別

地域種別

交付対象

直接間接

事業者

要素となる事業名
(事業箇所)

事業内容
(面積等)

市町村名

事業実施期間（年度）

R4

R5

R6

R7

R8

全体事業費
(百万円)

備考

合計

0.0

番号

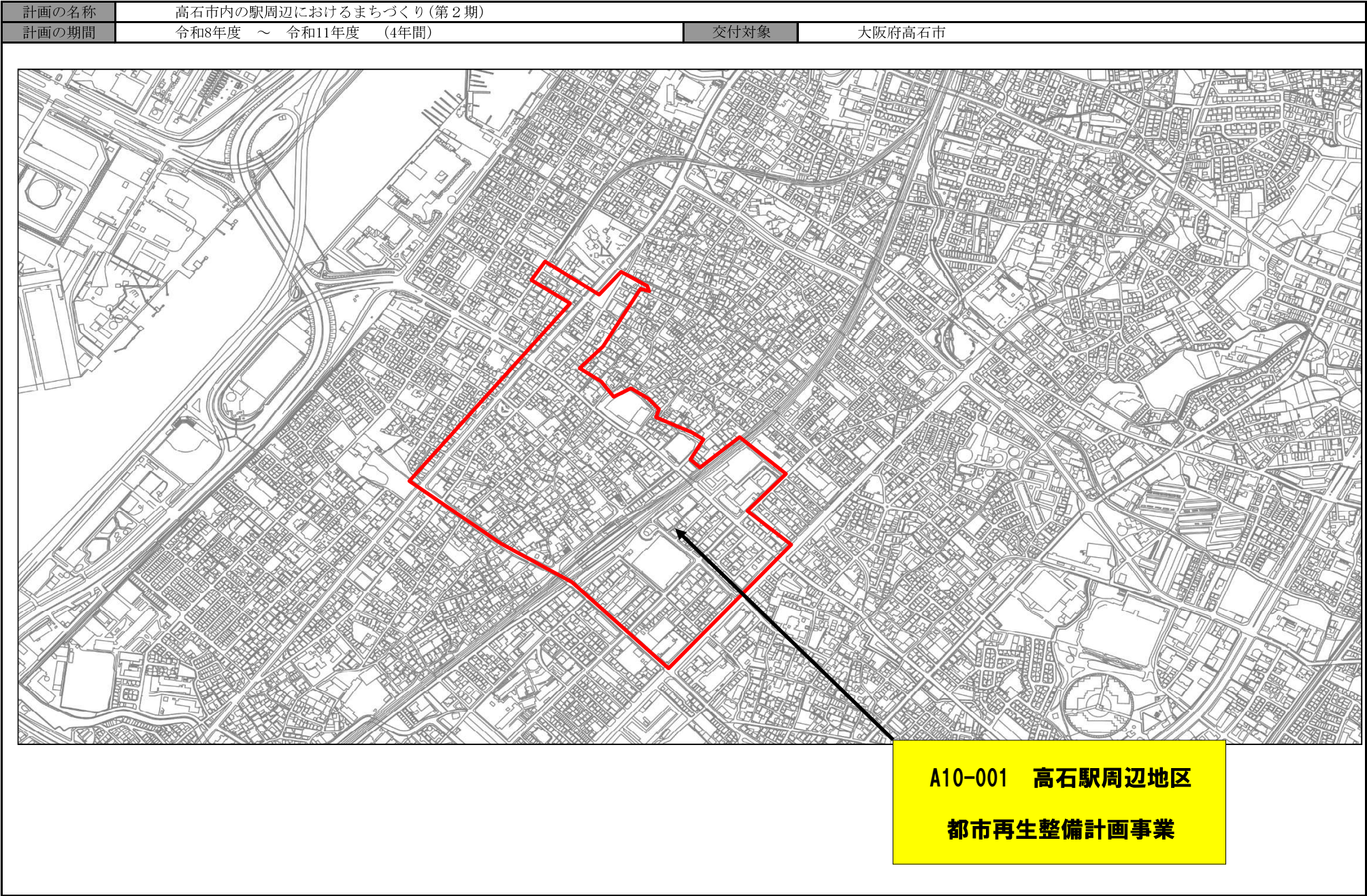
一体的に実施することにより期待される効果

備考

I-D1

〇〇事業(I-〇〇)に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。

参考図面



事前評価チェックシート

計画の名称： 高石駅周辺地区におけるまちづくり（第2期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]